
東方三柱神

霧夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方三柱神

【Zコード】

Z9964Z

【作者名】

霧夜

【あらすじ】

ある日、某ゲームをやっていた三人組の前に閻魔様が現れて・。
・。東方の世界に転生した三人だが、そこで一匹のボロボロになつた狐を助けたら何と、その狐は、転生した時代では珍しい妖狐だつた！

この小説は、東方の二次創作小説です。独自解釈や、二次創作要素が大量に含まれます。苦手な方や、「目が腐つちまう。」という方は、ブラウザバックをおすすめいたします。基本駄文です(^w^)

第一話 三柱、大地に立つ！（前書き）

W
W
W
どーも。霧夜です。また新しい小説書いちまた。大丈夫かな？

第一話 三柱、大地に立つ！

ある日、ある部屋で三人の少年が遊んでいた。やっているのは、P-Pゲームである「地球防軍2」である。

「くそ！また、僕が先にですか？これで、最初に殺されるの三回

目だよ！？」

だつて、お前弱いんだもん。

一
て
か
戦車砲直撃とか・・・穴ケル）！！

三人は、文庫モードで遊んでいた。しかし、そこはある一人の人物が現れた。

•
•
•
○

「おま、ちょ！ライサン——で狙撃は反則だろ！体力設定30

00ちょっとで勝てるわけねーじゃん!?

「いや、それなりに済み出しあげたのかい？ ほんと、#キニーニー！」

「確かこいつでない気がする。」

「ああ、おまえの心地いいやつだ。

「「ちよ、おまわわ」」

河の一用でしょうか?

「お前……。それで、どうして彼女がいる？」

「てか、微妙におれっちらも巻き込むな！」

「お前、その変な治らないの？」

「そなたら、人の話を聞かんか／＼！」

「「「すいませんでした～！！」」

その時の三人は、見事な○△の形で頭を下げていたといつ。

・・・閻魔様御説明中・・・

「・・・。つまり、手違いで俺たちに神氣が宿つてしまつたと？」

「まあ、そういうことになるな。」

「で、僕たちはどうなるのですか？」

「そうそう、おれつちもそれが聞きたかったんだ。」

「まあ、そなたらに相応しい世界に転生という形になるであらうな？」

「俺たちに相応しい世界・・・。・・・あるじやん！」

「「「へ？」」

「東方の世界！」

「ぶつ、確かにいいかもしないけど・・・。」

「大丈夫なのか？」

「まあ、それを望むのであればそつそく準備してしょせよつ。」

「「「あざーす～！」」

「微妙に腹立つのづ・・・。」

・・・数刻後・・・

見事に三人は草原にぽつんと立つていた。

「なあ・・・。」

「なんだ？」

「どうした？」

「俺達さあ・・・東方の過去の世界に転生させてつて頼んだっけ

？」

「・・・いや・・・。」

「たぶん頼んでない・・・。」

「・・・。」

しばらく沈黙が三人の間に漂つた。

「まあ、神気を持つてるってことは俺たちは神になってる?ってことなんだ!生き抜いてやるつぜ!」

「「そうだな!」」

「じゃあ、お決まりのあれ言つぞ!」

「「おお!」」

「「新世界の神になる!」」

三人とも・・・もう神だよ・・・。

b Y 作者

第一話 二柱、大地に立つー（後書き）

今回は、ここまでです。誤字脱字などありましたら、お気軽にコメ
ントで指導してください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9964z/>

東方三柱神

2011年12月30日22時48分発行